

## 学校再編住民説明会（2回目）質疑応答

### 美浜町学校再編に関するQ&Aについて

本町小中学校再編に関して、令和5年11月及び12月に開催しました学校再編住民説明会で寄せられたご意見ご質問に対して、回答をまとめましたので報告します。

項目	質問	答え
1 建設場所	小中一貫校については納得している。クラス替えが可能になるのは大変いいことだ。大学以外に既存の学校用地の活用も検討したのか。	3つのエリアの候補地には、河和中学校など既存の学校施設も含めて検討しましたが、大学施設、陸上競技場、奥田小学校のグラウンドなど、大学周辺の活用メリットも含めて日本福祉大学内への設置が最適であると考えています。
	河和町と野間町の歴史がある。せめて小学校だけでも東西に1校ずつにしてほしい。アンケートで決めるのではなかったか。また、今後少子化がますます進み、子どもの数も数年たてば減少するので、人口動態にも注視して時期を見極めてほしい。	当初はアンケートで決めたいと考えていましたが、財政面など考慮し町として総合的に判断した結果、実現可能な場所は1か所となりました。また、小中一貫校については、神谷町長、齋藤町長の時代から議会において議論してきており、現町長も選挙公約において訴えてきたものであります。人口動態についてはおっしゃるとおりであり、しっかりと見極めていきます。大学施設の共有、活用なども検討し最小限の建設規模を想定しています。
	子どもの数が最も多い河和地区にできると思っていた。子どもたちが9年間過ごす大切な場所なので、もう少し詳しく考えを聞きたい。	子どもたちにとって、美浜の特色を活かした魅力ある教育環境を整備できるベストの場所だと考えています。
	大学の敷地内での計画はいつから出てきたか。思い付きでなく計画的に実施してほしい。	令和5年7月の包括協定協議会で、日本福祉大学の理事長が社会福祉学部の東海市への移転について正式に発表してから、具体的に検討を始めました。スポーツと教育の学部方針と、本町の進めるまちづくりが一致しており、連携して取り組んでいけるものだと考えています。
2 適正規模	小規模校の良さがあるのでは。	小規模校での教育を決して否定するわけではありません。クラス替えのできる規模が望ましいと考えています。
	特別支援の児童生徒が増加している。美浜の魅力は少人数だと思う。大きな学校になり先生が不足しないか心配である。	少人数学級の良さもありますが、現在の出生数を見ると、今までとは違ってきます。集団の中で学ぶことも必要です。特別支援のアシスタントや支援員を現在も町で採用しており、これからも活用していきます。
	教室の数や規模はどのように考えているか。	建物の調査設計は今後のことですが、中身については学校づくりワークショップで現在も地域や保護者の声を広く募っています。
3 施設利用	大学のプール、武道場など貸していただけるということだが、体育館、グラウンドはどうか。	校舎、体育館、グラウンド（一部借用）は新たに整備する予定です。
	プールや武道場を使用できるということだが、大学も使用すると思うが、本当に大学と共用できるのか。	これから小中学校の使用について大学と調整していきます。
	大学用地は無償か。また大学が移転してなくなってしまったらどうするか。	無償で借用できます。大学の移転は想定しておりません。大学と一緒に協議して、今後のことについてもしっかりと検討していきます。
4 跡地利用	小中学校の跡地の活用はどのように考えているか。	校舎は民間に売却します。体育館とグラウンドは、避難所及びスポーツ施設として活用します。
	小中一貫校に賛成である。災害時の地域の避難所はどうか。	地域の避難所については、これまでどおりです。

## 学校再編住民説明会（2回目）質疑応答

項目	質問	答え
5 地域とのつながり	河和地区に学校がなくなると、河和地区の衰退につながるのでは。	河和地区に限らず、どの地域においても、衰退しないまちづくり、地域づくりをしていきます。
	大学連携は、いいことであるが、地域とのつながりを核として考えた時、東西に1校あった方が良いのでは。	既存の学校施設の老朽化の問題もあります。東西に1校ではなく、新たな学校を整備して、そこを核に地域とのつながりを考えていきたいです。
6 安全安心	キャンパス内での子どもたちの安全・防犯面はどう考えているか。	子どもたちの安全確保を第一に考え、大学側と安全対策について検討していきます。
	日本福祉大学の体操教室を利用しているが、安全面において心配である。	大学との共存、安全の確保について、今後大学・高校と調整していきます。
7 通学方法	スクールバスの台数の積算根拠は。	通学は、徒歩・自転車（中学生）・スクールバスを想定しています。在籍児童生徒の人数により、比較できるよう概算で算出したものです。
	河和中の通学はどうなるか。	河和中学校の生徒は全員スクールバスを考えています。
8 教育課程	日本福祉大学の場所はいいと思うが、社会福祉学部の移転問題もある中で、どのような大学連携を考えているか。	教育・心理学部、スポーツ科学部や付属高校と連携した取り組みを考えています。例えば、パラリンピック教育など専門性を活かした質の高い教育に取り組んだり、付属高校和太鼓部との連携など、強みを活かした教育連携を今後考えていきたいです。
9 その他	全体の費用負担がイメージできない。1世帯当たりの借金が増えるのか。	世帯あたりでいくらということではなく、町としていくら負担するかということですので。追加で税金を徴収するということではありません。いただいている中で考えています。
	スクールバスのドライバーの確保はできるのか。住民投票をしてほしい。	スクールバスを含めた、安全安心の通学は今後しっかり検討します。住民投票については考えておりません。